



< 経営事項審査の改正 経営者の心構え >

現在、経営事項審査の見直し作業が進んでいます。中央建設業審議会ワーキンググループの下に経営事項審査改正専門部会が設置され、具体的な改正内容について検討されています。すでに、3月5日、4月11日に会合が開かれ、4月11日には「評価項目別の見直しの方向性」が示され議論を深めているようです。検討スケジュールでは、5月を目処に取りまとめを行うこととなっています。

今回の改正は、「建設業を取り巻く環境変化に対応した適切な企業評価」を確立して、「公共マーケットにおける適正な競争の実現」「厳しい環境に対応した企業の経営努力を後押し」することを目的としています。

「経審」は時代の要請に応えてたびたび改正されてきましたが、一番大きな衝撃を受けたのは、やはり平成10年のインターネット等による経営事項審査結果の公表ではなかったでしょうか。自社の経営データを誰でもが見られるようになって、建設会社の経営者は自分を隠して生きていくことができないと悟ったと思います。スポーツの世界と同じように、「結果」は公表され、それを受け入れるしかないのです。そこで、とにかく、利益、そして「経審」の点数を上げなくてはならないと肝に銘じた人が多かったようです。そのせいか、お金の使い方には慎重になりました。「借金をしては点数が下がる。」「固定資産を購入したら点数は下がる。」「工事代金を早く回収しないと点数が下がる。」… ふくらんだバランスシートをいかに小さくするか、身の丈にあった経営をどうやっていくかに関心が集まりました。そして今、さらに追い打ちをかけるのは、一般競争入札の拡大、総合評価方式の拡大、入札ポンド制の導入です。技術と経営の両面において厳しい競争が繰り広げられています。コスト管理や技術開発に力を入れていかなくてはなりません。こうした環境の変化は建設会社にとってもつらいものですが、建設会社を鍛え上げているのも事実です。

< 評価項目別の見直しの方向性 >

「建設業者は経審の点数確保を優先した経営を行う傾向」があるとの指摘もありますが、何とか生きていかなければならないという立場からすればやむを得ないところではないでしょうか。むしろ、「経審」の絶大な力を利用して、「あるべき建設会社像」を明確にして、そういう会社に点数が多く配分されるような制度設計になることを期待しています。

今回の改正により、自社にとって不利になる会社もありますが、後戻りできない現実を直視して、どんな改正になってもしたたかに生き抜く覚悟が経営者には求められています。

W I S E N E T 編集部

松 村 清 (税理士)

	現行		見直しの方向性	
	ウエイト	評価内容	ウエイト	評価項目
X1	0.35	・完成工事高(業種別)	0.25程度	・完成工事高(業種別)
X2	0.1	・自己資本額/完工高 ・職員数/完工高	0.15程度	・自己資本額 ・利益額 ・付加価値額
Y	0.2	・収益性 ・流動性 ・安定性 ・健全性 (全12指標)	0.2	全面的に見直し
Z	0.2	・技術者数(業種別)	0.25程度	・技術者数(業種別) ・元請完工高(業種別) ・研究開発費
W	0.15	・労働福祉の状況 ・工事の安全成績 ・営業年数 ・公認会計士等数 ・防災活動への貢献の状況	0.15	・労働福祉の状況 ・工事の安全成績 ・営業年数 ・公認会計士等数 ・防災活動への貢献の状況 ・法令遵守状況

4月11日経営事項審査改正専門部会議事次第 資料より
現在審議中 決定したものではありません。

弊社 100%出資子会社 **ワイズ公共データシステム株式会社** < 経営状況分析申請 > 受付中!!

詳しい資料請求はこちらまで **お電話 <026-232-1145>** e-mail <info@wise-pds.jp>

ゴールデンウィーク休業のお知らせ

4月28日(土)~5月6日(日)まで お休みとさせていただきます。メール・FAXでのお問い合わせは随時受け付けております。

E-mail : info@wise.co.jp / FAX : 0269-65-4745

Wisdom 資料請求(無償) Wisdom デモ CD 希望(無償)
送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)
今後「Wise FAXNET」送信不要 今後「Wise FAXNET」はメールで希望
FAX 送信はこちらまで **0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名

ご担当者様

ご役職・部署名

TEL

FAX

今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入下さい。

e-mail